

## I 先行する神の恵み。

父なる神が、私達を選び、救いを計画され、御子なる神であるキリストが私達の罪を負い、身代わりに十字架で私達の罪の罰を受け、私達の救い、贖いを実行、完成して下さった。聖霊なる神は、主が完成された救いを私達に届けて下さる神。私達の心に働き、私達の罪を示し、その罪の為に主が十字架で死なれた恵みを信じる信仰を与え、キリストと霊的に結び合せ、私達をキリストの体である教会に加え、結び合せ、組み合わせておられる。

## II 神が与えられた個性のある私達を、主の教会に組み合わされる恵みの御業

教会の土台は、御言葉であり、キリストご自身である事を2：20で学んだ。主自身が要の石であり、他の補助的な石（私達）を互いに組み合わせ、教会全体を支え、一つにして主の教会全体を成長させられる。

1. 神は、私達を選び、見つけ、霊的な石である私達を、霊的な教会の壁にはめ込まれる。神に感謝したい。主の教会に大量生産はない。神に救われ、新しく生まれる恵みは、団体、まとめてでなく、個人的な事である。神は私達を愛し、私達との個人的な交わりを喜ばれる。そして、主を中心とした互いの交わりも喜ばれる。

2. 教会という霊的な建物を建て上げるすべての石（私達）は、同じ石ではない。皆、違っている。しかもその全部が調和して組み建てられ、壮大な壁をなしている。教会の建て主である神は、御言葉を土台とした「一致」と神が一人一人違うユニークな存在として造られている「多様性」の両方をバランス良く、大切にされる。私達は、主を土台として一致して教会を建て上げるが、私達は、互いに違っている。「あなたがたも生ける石として、霊の家（教会）に築き上げられなさい」Ⅰペテロ2：5。私達は、生ける石として、大きいものも、中位のもの、小さいものも存在する。神が、私達を個性があるように造られた。しかも、みな同じ教会に組み合わされている。これが本当の一致である。神は、私達に、それぞれの気質、性格を与えられた。明るい人、静かな人、すぐに盛り上がる人、冷静に考える人、それぞれの人に神は、気質、性格、賜物（好きなもの、ある能力）を与えられた。人と比べたり、ねたんだり、うらやましがったり、威張ったりするのではなく、神が、自分に与えられた分を感謝し、それを生かして、神と人の為に生きる人は幸いである。みなが牧師、宣教師になるように召されてはいない。それぞれに神が導かれた道、職業、立場で神の栄光を現わす。神は、私達それぞれに、役割を与え、それを実行できるように助けて下さる。皆、違う。非常に大きい石がある。小さな石もある。しかし、その重要さは同じである。他のどのような石でも埋め合わせできない場所に、神は、私達という生ける石をぴったりと必要な所に、はめ、組み合わされる。主は、見事な大工さん、建て主である。神が造り救われた生ける石、私達の中には大きな多様性と個性がある。神は私達全員をご覧になっている。Ⅰコリント12：12-27を見てみよう。主の体（教会）全体が目なのではない。又、全体が耳でも手でも足でもない。他のものより見栄えが良い器官もあるが、これらの違った器官すべてが同じ体（主の体なる教会）に属している。見栄えのしない器官が見栄えのする器官と同じように重要である。神は、各器官である私達一人一人に語りかけられる。「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」イザヤ4

3：4。私達は、愚かにならないようにしたい。みな同じになりたいとか、一様になりたいと思わないように！大量生産とか画一化されたブロックのような観点は聖書的ではない。石作りの建物を考えよ。私たちがどんなものであろうと、神は私達を選んで下さり、主の教会という霊的な建物の中に組み入れて下さる事、神は、私達の性格も事情も、良く知っていて下さる事を感謝しよう！私たち一人一人が、神により、そこに置かれている事、また性格も、性別も、職業も、立場も、年齢も違う私達が、何の差別もなく、神に愛されている事、神は、教会の中で私に最もふさわしい所（集う教会も）を見出し、そこに私達を置いて下さる。この事実は、目を見張る素晴らしい恵みである。自分が集い、共に建て上げ、互いに支え合う教会が神によって与えられている恵みを心から感謝したい。

### Ⅲ 準備と生ける石（私達）を整えられる神

昔、ある国の建物の材料は石だった。建物を建てる人は、石を取り、色々な形の違うハンマーで少しずつその石を削って行く。削り、形を整え、きれいにし、少しずつ削って行く。何度も繰り返していく。ぴったりとはまらないとまた、それがぴったりとはまり収まるまで石を削り続ける。それから次の石を取り、同じようにする。本日の「組み合わせされた」の御言葉が意味しているのはこのような事である。私達は、自我が強かったり、こだわりが強かったり、他の人を支配しようとしたり、他の人に支配されたり、へりくだった心がないと、組み合わせられて、一致を保ち、主の教会を共に建て上げる事は難しい。神は、どのようにして、私達の石を削り、角を取り、へりくだりと愛を与え、他の人と組み合わせられて主の教会を建て上げるようにされるのだろうか。

①礼拝説教や日々、自分で読み味わう御言葉を通して、私達の良くない所を気づかせ、削り、整えて下さる。私達には扱いにくい点、組み合わせられにくい角がある。そのままの私達では、神が建て上げられる教会に、ぴったりとはまらない。神は、愛をもって御言葉というのみや日常生活の訓練（試練や難しい人との関係）で削り取り、組み合わせられ易い、へりくだった者に私達を変え続け整えて下さる。感謝します。

②偶然は、一つもない。神はすべてを支配しておられる。神は、私達が、苦しみ、悲しみ、難しい人間関係、挫折、誤解他、色々な所を人生で経験する事を用いて、私達を削り、へりくだらせ、思いやりのある人に変え、組み合わせられやすい人に変え、主に拠り頼む者に変え、主の教会を建て上げられる。私達を整えて下さる神に感謝します！

### Ⅳ 主にある一致の為に大切な事

1. 人につく一致ではなく、一人一人が主と主のみことばに近づく時に生まれる一致。一人一人が教会のかしらであり、土台である主に近づく時、一人一人の距離も近くなる一致。これこそ、人間的な一致ではなく、主を中心とした一致、神が生み出して下さる一致。

2. お互いの違いを認め合い、受け入れ合う一致。意見と人格を分ける事を主から学び続ける。違う意見が出て、御霊の実である柔和な心で聞き合い、語り合い、祈り合い、事を決めて行く。「キリストがあなたがたを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに受け入れなさい」ローマ 15：6